

「魅力ある名古屋港」目指し 屋外型大規模レストランがオープン

日本最大級の貿易港である名古屋港だが、肩を並べる横浜港に比べてどうしても地味で華やかさに欠ける。大日本印章のグループ会社「トリフォリオ」は、これを少しでも魅力的にと七月十五日、名古屋港の広大な敷地に新業態のレストランをオープンさせた。

トリフォリオがオープンした屋外型レストラン「ハーバーガーデン」は、地下鉄名古屋港駅から徒歩五分と絶好の立地。名古屋港の大型駐車場を挟んで西側が名古屋港水族館、東側がハーバーガーデンとなる。敷地面積は一五〇〇坪、客席数約四〇〇という大型施設だ。家族連れにも名古屋港周辺で終日楽しんでもらえるようにと、巨大立体迷路とドッグランも併設されている。

平成二十六年、矢場町の「ランの館」の跡地にトリフォリオがオープンした「ガーデンキッチンフラリエ」の成功を受け、そのノウハウを十二分に生かしてハーバーガーデンは作られた。敷地は南北に約五〇m、東西に一二〇mの広さだ。海辺のレストランをイメージし、港の景観にも合うような施設づくりを行った、メー

ンの建物は外国製の大型のコンテナ、ドリンク・カクテルコーナーなどは、港にある一般的なコンテナを使った。

海沿いで高級バーベキューを

広々としたウッドデッキ席、愛犬と一緒にバーベキューを楽しめる芝生席、海を目前にした席はカッパルシートなど、施設内の各コーナーに工夫が凝らされている。

ガーデンキッチンフラリエと同様、バーベキューが中心だが、一般の施設よりワンランク上を狙った設備だ。バーベキューコンロはアウトドアブランド「マスタービルド」を使用。施設内の各所に「海沿いの施設」の雰囲気を中心にしながら、高級感あふれる調度品をそろえた。

海外高級ブランドのバーベキューコンロで厳選食材を楽しむ



ハーバーガーデンは、矢場町のガーデンキッチンフラリエで得たノウハウを、料理やドリンクなどにも詰め込んだ。肉類は上質なものに切り方も工夫してサーブする。飲み物はビールだけでなく、ワインやカクテルなど種類を多くそろえた。ワインはボトルでも提供され、価格帯も二〇〇〇円代、六〇〇〇円代と幅広い。炭焼きコ